# 立山砂防国際シンポジウム 開催概要 一日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に— 世界遺産登録推進国際シンポジウム 2017

## 1 開催趣旨

富山県は、関係機関や民間団体等と連携協力しながら、富山県が世界に誇る防災遺産である、立山カルデラの歴史的砂防施設群の世界遺産登録を目指し、顕著な普遍的価値の調査研究や検証を進めてきました。

今般、これまでの調査研究の集大成として、また、富山県で来年開催される国際防災学会(インタープリベント)を見据え、東京で国際シンポジウムを開催し、世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等をとおして、立山砂防の歴史的・文化的な価値や魅力を広く発信しました。

#### 2 概 要

- **(1)** 日 時 平成 29 年 10 月 1 日 (日) 13:30~17:00
- (2) **会 場** 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー (東京都千代田区平河町 2-7-4)
- (3)参加者 約300名
- (4) プログラム
  - ■挨拶 開会挨拶 石井 隆一 富山県知事 来賓挨拶 文化庁文化財部文化戦略官 熊本 達哉氏 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 栗原 淳一氏
  - ■講演1 「わが国防災遺産の系譜と立山砂防」 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 保存科学研究センター近代文化遺産研究室長 北河 大次郎氏
  - ■講演2 「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」 富山県知事 石井 隆一
  - ■立山砂防の世界遺産登録推進アニメ映像上映 「立山砂防・土砂との闘い〜世界に誇る防災遺産〜」
  - ■パネルディスカッション

コーディネーター 西村 幸夫 氏(日本イコモス国内委員会委員長) パネリスト アルフレッド・ルイス・コンティ氏(イコモス副会長)

郭 旃氏(前イコモス副会長)

北河 大次郎 氏(東京文化財研究所近代文化遺産研究室長)

松浦 晃一郎 氏(第8代ユネスコ事務局長)

石井 知事

(5) 主 催 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会

(事務局:富山県総合政策局企画調整室、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室)



## ■講演1 「わが国防災遺産の系譜と立山砂防」

独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 保存科学研究センター近代文化遺産研究室長 北河 大次郎氏

立山砂防は防災遺産として世界文化遺産登録を目指しています。立山砂防はモノとして、歴史の実像としての価値は既に評価されています。防災遺産としては、現代や未来に対する教訓、メッセージが一体何なのかということを考える必要があります。



常願寺川全体を考えると日本の砂防史上の意味付けがはっきりします。まずは明治24年のデ・レイケの来県と指導です。本格的な近代治水としては全国で最初の事例と言えるでしょう。次に、赤木正雄らによる砂防事業で、山腹の崩壊を防止し、上流側に土砂を堆積できるように堰堤を設置しました。そして昭和に入ってからの常願寺川改修計画です。我が国で初めて山頂から河口に至る水系一貫の土砂管理です。

我々の長い歴史の中で、自然の恵みと脅威の狭間で生きる暮らしの基盤が作られました。 そして、そこから紡ぎだされた教訓やメッセージが、常願寺川の砂防には非常にたくさん 含まれています。我々が忘れかけている日本の治水砂防の大事さを思い返すために、常願 寺川は非常に重要な存在と言えるでしょう。

#### ■講演2 「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」

富山県知事 石井 隆一

富山県は3,000 行級の立山連峰から水深1,000 行以上の富山湾まで高低差4,000 行のダイナミックな地形で、そのほぼ中央を流れる常願寺川は世界的にも極めて急流な河川です。立山カルデラには安政5年の飛越地震で大崩れして、4億立方にほど土砂が堆積しました。常願寺川は、この立山カルデラから流出する土砂が原因で洪水氾濫を繰り返してきました。現在でも、2億立方行が立山カルデラ内に堆積していると考えられています。常願寺川の水害をいかに防ぐかが、富山平野に住む人にとっては大問題です。



白岩堰堤は2009年に砂防施設としては全国で初の国重要文化財に指定されました。本堰堤の高さが63年、副堰堤を合わせると108年と、日本で一番です。本宮堰堤は、我が国最大の貯砂量500万立方にを誇る砂防堰堤です。泥谷堰堤は22基から成る階段状の砂防堰堤群です。上流の泥谷堰堤では土砂生産を抑制し、白岩堰堤で土砂を扞止する。中流域の本宮堰堤では貯砂や土砂調整を行う。水系全体を捉えて、一貫した対策になっています。

世界文化遺産のうち「水管理システムに係る遺産」を抽出してみると、10 件の遺産が確認できました。しかし、いずれも立山砂防が目指す防災遺産と言えるものではありません。 立山砂防は先駆的で独自性が認められる遺産と考えられます。

立山砂防はこれまでの調査研究で、世界遺産登録に必要な「顕著な普遍的価値」として、 災害が多い日本で生まれた防災の総合技術、世界の中で日本の総合的な水系管理技術の近 代における到達点、世界に広まった近代的な防災技術の典型という3点を確認しており、 富山県では、防災とエコの両立、水系一貫の総合的な防災システムといった立山砂防なら ではの特徴をアピールしてまいります。

## ■立山砂防の世界遺産登録推進アニメ映像上映

「立山砂防・土砂との闘い~世界に誇る防災遺産~」

会場では、今年制作された立山砂防の世界遺産登録推進 アニメ映像「立山砂防・土砂との闘い〜世界に誇る防災遺産〜」が初めて上映されました。

このアニメ映像は、飛越地震の土石流災害で土砂との闘いを決意した人々を描いたアニメーションドラマを軸に、立山砂防の仕組みを表すCGや現在の立山砂防の実写を交え、立山砂防の役割やその価値についてわかりやすく示しています。



#### ■パネルディスカッション

【コーディネーター】西村 幸夫 氏(日本イコモス国内委員会委員長) 【パネリスト】 アルフレッド・ルイス・コンティ氏(イコモス副会長)

郭 旃氏(前イコモス副会長)

北河 大次郎 氏(東京文化財研究所近代文化遺産研究室長)

松浦 晃一郎 氏(第8代ユネスコ事務局長)

石井 知事

- **西村** 立山砂防の国際的な評価についてお聞かせくだ さい。
- コンティ 立山砂防には世界遺産登録の基本的な条件である「顕著な普遍的価値」が存在することを確信します。立山砂防は自然への配慮と敬意があり、世界各地に技術的に影響しています。世界遺産登録基準 I の人間の創造的才能を表わす傑作でもあります。



- **郭** 世界遺産の中には防災遺産は明らかに存在していません。立山砂防の登録を通し、 この種の資産を掘り起し、世界の人々がもっと自信をもって前へ進めるよう元気を与 えるべきでしょう。
- 松 浦 実際に立山砂防を訪れ、立山砂防には「顕著な普遍的価値」が間違いなく存在していると感じています。日本政府の暫定リストに載せることが第一歩になるでしょう。
- **北** 河 立山砂防の国際的価値は、古来の伝統を踏まえ、自然を克服するのではなく、自然と正面から向き合って対処したことに認められます。
- **石** 井 東日本大震災などもあり、世界的に防災の重要性が高まっています。立山砂防の 価値をアピールすることは世界の防災にとって大きな意義があります。防災とエコ の両立を主眼として、立山砂防を 21 世紀の新たな文化遺産として提案したいと考えています。
- 西村 世界遺産登録における「防災遺産」の意義をお聞きします。
- コンティ 防災は世界の中で重要なテーマであるにもかかわらず、現在の世界遺産には防災

遺産は登録されていないことから、立山砂防は文化遺産として世界遺産登録の好例になり得るものと考えます。

郭 立山砂防は世界遺産の新しいタイプの大変重要な事例となり、今後の世界遺産リストのバランスを図るうえで重要。立山砂防は独創性に加え、自然に順応しながらしなやかな回復力があることが特徴です。

松 浦 日本は災害が多く、防災対策が充実しています。 世界の防災大国として、立山砂防の防災遺産とし ての登録第1号となることは意義があり、世界遺 産の類型を増やす意味でも大切です。



- **北** 河 防災遺産そのものが例えば発展途上国への支援においてもインパクトがあり、重要な価値が認められます。常願寺川の治水砂防の歴史は発展途上国の良い見本となります。
- **石** 井 立山砂防は常に機能を維持し、充実させていくことが欠かせないため、他の世界 遺産とは性格を異にしています。防災遺産は、機能をしっかりと維持させていくこ とがその価値を持続させることにつながると考えます。
- **西 村** 世界遺産登録に向けた今後の課題について教えてください。
- コンティ シンポジウムや研究を通し、富山県と関係機関の世界遺産登録へ向けた真剣かつ 説得力ある努力に敬意を表します。日本政府が立山砂防を早く暫定リストに記載し、 推薦することが大事でしょう。
- **郭** 立山砂防には不可欠な役割と機能があり、人間のしなやかな回復力を示しており、 世界でも非常にユニークな存在です。皆さんはこれまでにかなりの準備作業を行っ ており、称賛できます。
- **松** 浦 立山砂防が世界遺産となれば防災遺産としては初めての登録です。そのためには 行政だけでなく、大勢の方が関心を持ち、地域が後押ししていくことが重要です。
- **北** 河 立山砂防には貴重な資料が残されています。どこかが拠点になってアーカイブとして保存し、公開していくことを進めてほしいと思います。
- **石** 井 立山砂防は世界遺産登録に向け、準備が整いつつあります。アニメを使うなどい ろいろな工夫も凝らしています。来年はいよいよ国際防災学会のインタープリベン トが富山県で開催されます。学会に先立ち、立山砂防の世界遺産登録を目指したシンポジウムを開催したいと考えています。